

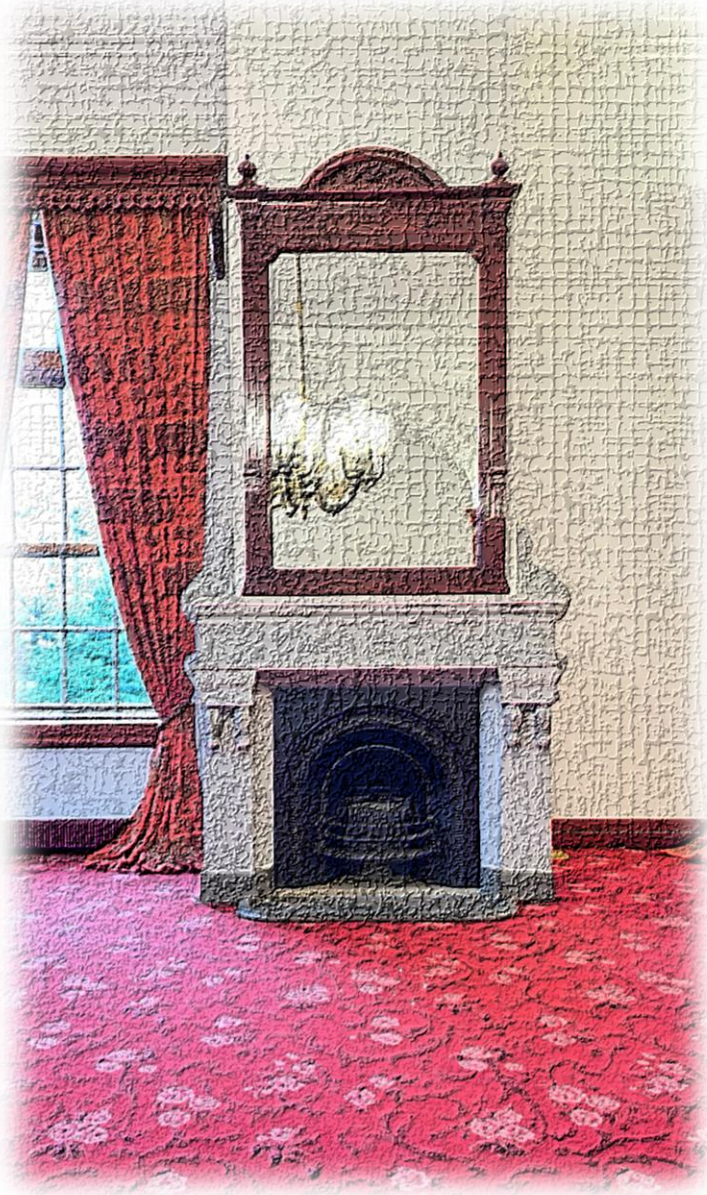
札幌市豊平館 講座

北海道の 暖房器具の変遷

明治期以降、本州以南から多くの人々が北海道に移住して来ましたが、出身地で使用していた従来の囲炉裏や火鉢などで冬を越すことは困難をともしました。

その冬の寒さを克服するため、住宅の改良や暖房器具の開発が行われました。

開拓使が導入を図った欧米の暖房の技術と北海道で開発されたさまざまなストーブについて紹介します。



日時 12月 3日(金) 18:00~19:30 (受付 17:30~)

講師 村上 孝一(札幌市豊平館 館長)

場所 札幌市豊平館 広間(札幌市中央区中島公園1-20) 料金 無料

定員 40名予定(定員になり次第受付終了 申し込みは下記の連絡先となります)

※新型コロナウイルス感染症の感染防止策のため、**事前に申し込まれていない方は聴講できません**

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、**急遽開催を中止する場合があります**

申込先 豊平館 TEL011-211-1951 (11月4日(木)より受付開始 受付時間 9:00~17:00)

主催 豊平館(指定管理者:一般財団法人北海道歴史文化財団)

連絡先 〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-20

TEL 011-211-1951

info@s-hoheikan.jp

アクセス・駐車場はありませんので公共交通機関をご利用下さい

・地下鉄南北線「中島公園」駅3番出口より徒歩5分

・市電「中島公園通」電停より徒歩5分

【新型コロナウイルス感染拡大防止のお願い】

- ・講座当日に平熱と比べ高い発熱や、咳・咽頭痛などの症状がある方は、ご参加をお控えください
- ・入館時に検温を行います。平熱と比べ高い発熱があると認められた際には、ご入館をご遠慮いただきます
- ・マスクの着用、咳エチケット、手指の消毒にご協力ください
- ・受付、着席は会場内の指示に従ってください
- ・会場内での会話はなるべくお控えください

※新型コロナウイルス感染状況等により開催を中止する場合がありますのでご理解のほどよろしくお願いいたします